

◆平成28年度学生募集！！

10月1日入学願書受付開始！！

企画広報室 萩原 奈穂美

みなさん、こんにちは！季節はすっかり秋、今年度もあと半年となりました。先月には『美女と野獣』観劇を通して、しっかりと“芸術の秋”を味わったことと思います。残りの半年も悔いのないよう、充実した毎日をご過ごしましょう！

さて、本学でもいよいよ入学選考が始まります。本学の入学選考方法は、『AO入学選考』『指定校推薦選考』『特待生選考』『一般選考』『自己推薦選考』『社会人入学選考』『留学生選考』があります。このように様々な方法で、みなさんの後輩たちが受験に挑戦していきます。皆さんも「あの頑張った時期か」と、既に懐かしく感じるのではないのでしょうか。学生の皆さんは受験生が本学へ訪れた際には、是非声をかけてあげてください。きっと受験生の緊張もほぐれていい結果につながられるのではないのでしょうか。

なお、入学選考が始まった後も毎月オープンキャンパスを開催します。高校の後輩や身内の方などで電子情報や福祉医療への道を希望されている人がいましたら、是非とも本学のお話をし、オープンキャンパスへの参加を勧めてみてください。本学の魅力を伝える一番有効な手段は皆さんの『生の声』です。後輩にお伝え頂くことで、もし何かわからないことがありましたら、企画広報室へいつでもお越しください。また、オープンキャンパスの参加者の方たちが来場した際にも、挨拶をよろしくお願ひします。素敵な先輩であるみなさんの、明るい笑顔、元気な挨拶は、きっと本学の魅力を何より伝えてくれます。みなさんの力で、これからの中村学園をさらに盛り上げていきましょう！

★AO入学選考エントリー〆切間近！！10/9(金)まで！

【第1回入学選考日程および出願受付期間】

A日程：10月17日(土)

指定校推薦選考・自己推薦選考・社会人選考
願書受付 10/1(木)～16(金)15時

B日程：10月24日(土)

特待生選考・一般選考・留学生選考
願書受付 10/1(木)～23(金)15時



10月の行事



1日(木) 願書受付開始

2CP 保育実習Ⅲ(施設)前半

3日(土) オープンキャンパス 13:00-15:00

12日(月) 体育の日

13日(火) 秋季スポーツ大会

14日(水) オープンキャンパス 17:00-18:30

16日(金) 2CP 保育実習Ⅲ(施設)後半

17日(土) 第1回入学選考A日程

18日(日) 情報処理技術者試験

22日(木) オープンキャンパス 17:00-18:30

24日(土) 第1回入学選考B日程

26日(月) 2TW・CW 第4期実習(～11/21)

29日(木) J検 CBT

31日(土) オープンキャンパス 13:00-15:00

◆就活の「リアル」を把握。

そして、果敢にチャレンジを

進路室長 橋野 幸男

まず、「新卒採用」をめぐる最近の動向を、報道記事などで整理しておきましょう。

活動継続中の学生だけでなく、就活準備が始まっている次年度卒業年次の皆さんも、リアルな雰囲気を感じてほしいと思います。

■(公財)就職支援財団「新卒者採用に関する追加調査」

〔調査期間 8月10日～9月4日〕

- ・県内「採用意向あり」企業のうち、「選考を継続」が79.8%〔前年比+20.7ポイント〕。
- ・今後の内定辞退を懸念して、「採用活動終了」企業のうち、21.6%が「9月以降の選考再開」を視野に〔前年のほぼ倍増〕。
- ・以上などから、長期戦の様相。同財団の担当者は、「企業は追加募集、学生は選考の継続など、10月の内定解禁後もまだ動きが出る可能性がある」と。〔静岡新聞〕H.27.9.19。公表資料(H.27.9.18)は、同財団HP

■9月2日開催『第1回・大学生等就職フェア』〔静岡労働局・県などが主催。静岡会場〕は、80社の参加企業枠に177社の応募

募があり、抽選に。「景気回復による企業の採用増で学生の選択肢が広がり、個々の採用活動でエントリーや説明会などの参加人数が大きく減ったことへの焦りがうかがえる」。〔静岡新聞〕H.27.9.3]

10月の『第2回』についても、同様か。

■「2016ルール」(指針) 下での就職・採用活動 に対する「評価」〔日経産業新聞〕H.27.9.7、「採用最前線 2016・企業担当者討論会」から]

- ・ソフトバンク『誰トク』:「経団連への非加盟企業などが活動を先行させ、加盟企業が8月に選考を始めたことで2段階となり、学生にとっても企業にとっても長期戦となってしまった。当社は加盟企業だが、同ルールには縛られずに活動」。
- ・ファーストリテイリング『異常気象』:「学生の活動期間が長くなった反面、加盟企業の選考が始まってから終わるまでの期間は過去にないほど短かった。景気の状態を上回る“売手市場”でもあった」。

■経団連会長が、9月7日の記者会見で、「指針」見直しに言及: 10月に企業・大学からの聞き取りで実態を把握。方針決定後に政府と調整。ただし、「次年度は一部修正にとどまる」か。〔静岡新聞〕H.27.9.8〕。

■『静岡新聞』連載・「就活しずおか 異常あり」〔全4回。H.27.9.15～22〕から

- ・No.2「ネットより『会う』重視」: 就活の情報収集はネットから一。そんな「常識」にこの夏、ちょっとした変化が見える。… 経団連加盟企業が選考日程を後ろ倒しする一方、外資系や中小企業などは例年どおりのスケジュールで動き、学生の就活が複線化、長期化の様相を呈している。企業によってばらつきがある状況に学生は戸惑い、よりリアルな情報への欲求を特に強めているようだ。… 合同企業説明会の担当者は、「ネットで情報を得ようとしても、膨大すぎて何が正しいかわからない。そんな不安な気持ちから、相手の顔が見えるアナログな説明会やOB訪問などにせつせと通う学生は多い。みんな確かな情報を求めている」。

- ・No.4『成長の資質』を見極め: 地域に根差した企業が見つめるのは、立派な履歴書でも、こなれた受け答えでもない。熱意、誠実さ、忍耐力一。成長のパネになる資質だ。… 物流の鈴木(清水区)の採用担当者は、面接で「どんな就活してるの」と尋ねる。独自に工夫や勉強を重ねる学生は「仕事でも課題解決能力が高い」。本年度は希望職種ごとの情報提供や社員との懇談を通じた選考前のマッチングに力を入れた。途中段階の選考通過者には「次もぜひ」ではなく「次の選考を受けますか」と尋ね、意識のレベルについて自問を促した。選考を受ける学

生の数は減ったが、個々の志望意欲は高まり、選考中の辞退者は減った。… 9月上旬に静岡市で開かれた合同企業説明会。内定者確保に苦勞しても妥協せず、腰を据えて選考に臨む企業が多い。…

卒業年次学生のチャレンジが佳境にさしかかっています。「売手市場」でも、企業は「厳選」姿勢を崩していません。採用「長期化」は、活動継続中の学生にとってチャンスではあります。しかし、それを活かすには、これまでの経過を振り返り、「自分を変える勇気」を発揮することも必要です。志望分野を拡大したり、行動特性を変えたり、等等。しかし、こうした試練は、必ずあなたを成長させてくれます。

ここで、「メンタルトレーニング・コンサルタント」大儀見 浩介氏のコメントを紹介し「日経 College Cafe・連載『アスリートに学ぶメンタル術 ⑧』から」。

「私は数多くのトップアスリートを見てきましたが、挫折をしたことのない人は一人もいません。… 結果に至るプロセスや、その過程における自らの成長に目を向けている人にとっては、失敗はいけないのではなく、自分が成長するために足りないところを知る材料に過ぎません。『ミスをしたおかげで課題が見つかる』と考えることができれば、ミスを次のチャレンジにつなげていくことができます。『また失敗しそうだ』と思うのではなく、『ここを直せば次はやれそうだ』と思えば、メンタル的にも次の機会に挑戦するときの姿勢が大きく変わってくるでしょう。…

就職活動を行なって内定を勝ち取る一、それが皆さんの目標です。でも、先ほど述べたように、それも人生の目標にとっては一つの通過点にしかすぎません。そういう視点でとらえれば、一つの面接の失敗は、成長のためのステップです。… 課題が見つければ、それを克服するよう努力していけばいい。そして、その行為が、あなたを成長へと導いてくれるのです。…」

さあ、あなたの「P-D-C・F-A」サイクル＝「セルフマネジメント・サイクル」を回し、成長していきましょう〔なお、Fはfeedback〕。

また、就活準備中の学生は、「リアルな」採用・就職活動を理解しましょう。そして、「成長のための失敗を繰り返そう」という気概で、学修、課外、更に学外でも、積極的にチャレンジを重ねていってください。



◆第5期実習を終えて

総合福祉学科 3年 田島 汐美

私は、特別養護老人ホーム羽衣の園で実習をさせていただきました。多くの部署の中でも特に施設で行われている地域活動が印象に残りました。そこでは施設と地域が交流することで、地域の方に利用者様も同じ地域の一員であること、施設と地域をより近いものだと感じてもらうことができるのだと実感することができました。さらに、お互いの情報交換や利用者様の居場所、生きがいにもなっているのだと感じ、地域活動を通して利用者様の新たな一面を発見し、生きがいの幅を広げていくことができるのだと感じました。相談員は他職種との連携を行いながら、「地域と施設がつながるための架け橋の役割」を果たしていることも学ぶことができました。

今回の実習を通して自分がどのような環境で働きたいのか、どんな仕事をしたいのか、自分の目標、将来像をはっきりと決めることができました。ここで学んだことを残りの実習や就職後に活かしていきたいです。

◆第1期実習を終えて

総合福祉学科 1年 若月 竜次

今回の実習は1年生にとって初めての实習でした。

初めての実習ということもあり、みんなそれぞれが緊張したり、不安があったりしていたと思います。しかし、その中でも一人ひとりが意欲や学ぶ姿勢を忘れず、多くのことを学んでくることができたのではないかと強く思っています。

私の実習先は特別養護老人ホームでした。私自身のなかでの施設のイメージは「常に忙しく動いている状態の中に緊張感で張りつめているもの」と思っていました。

しかし、実際は穏やかで、「家庭的な雰囲気」に包まれておりました。生活する利用者様や働く職員様は優しく、親切な方ばかりでした。今まで持っていた施設のイメージは大きく変わりました。

実際、多くの利用者様とコミュニケーションを取ると、一人ひとりの利用者様に適した関わりを持つことが必要なため苦勞した場面も多々ありました。それに加え、生活支援技術面でも多くの学習が必要であることを痛感いたしました。

今回の実習で苦勞したこと、辛かったこと、楽しかったこと、感動したこと…等々、全てがとても良い経験になり、今後への意欲がますます大きくなりました。

実習させて下さった施設様、職員の方々、利用者様方に今、大変感謝しております。

介護福祉学科 1年 安達 龍也

第一期実習では、学んだことだけでなく、自分自身の反省点も見つけることができました。3日間と2日間に分けて、2施設に実習

へ行き、共通して学べたことは、「声かけの大切さ」です。利用者様に対して、何をするときも声かけを行うことは重要なことです。職員の方が何気ない話をしているようにみえましたが、実は利用者様を観察しながらコミュニケーションを図り、利用者様の表情は明るく、笑顔でした。このようなことから、どんなことでも声かけをすることの大切さを学びました。

反省点は、コミュニケーションです。どのような話題にすべきか考えてしまうことが多く、職員の方から助言をいただきました。

今回の実習で、利用者様に安心感を持っていただけるような「コミュニケーションの図り方」、そのための声かけの仕方を多く学ばせていただきました。反省点も踏まえ、今回の実習で学べたことを次の実習で活かしていけるよう、さらに知識・技術を身につけていきたいです。

◆夏季病院実習を終えて

医療情報秘書科 2年 早野 小春

今回の実習では学校で学ぶことのできない実際の医療現場での仕事内容を多く学ぶ事が出来ました。薬の名前や作用、加算などの算定の他、患者様への言葉遣いや配慮など自分に足りない点を改めて実感しました。特に大変だと思う点は、診療費の計算の際、診療内容や処方内容を見て病名がしっかり入力されているかの確認、負担割合の確認、診療報酬明細書の点検など多くありましたが、その中でも患者さまと接する際に「ありがとう」や「助かったよ」などと言って頂いたときに嬉しかったです。

医療事務でも、受付の仕事だけでなく、診療補助や健康診断の書類記入、カルテの整理、病院内外の清掃等、多くの仕事があり、よりこの仕事に就きたいと思いました。

また、言葉遣いや挨拶、パソコン業務などの基礎的な部分も改めてしっかり勉強し、就職活動に取り組みたいと思います。

◆新任教職員の紹介

企画広報室 萩原 奈穂美

こんにちは！

7月から企画広報室に加わりました、萩原奈穂美(はぎわらなおみ)と申します。私は秋田県の出身で、お酒が好きだったことから、これまでは東京のお酒の卸会社で5年ほど勤めていました。昨年の11月、結婚して静岡県に引っ越して来たばかりで、まだまだ静岡のことは勉強中です。広報の仕事は初めてですが、営業、販売促進、商品展示会運営等、前職で経験してきたことを活かして、中村学園の良さを外部に発信していきたいと思っています。

仕事のことも静岡のことも勉強中ですので、学生の皆さんと共に成長していけたら、と考えています。校長先生をはじめ先生方、学生の皆さん、これからどうぞよろしくお願い致します！